

質問および意見書として提出します。

---

「第 64 回委員会 審議資料1-2-2」についての疑問

2007 年 10 月 20 日  
自然愛・環境問題研究所  
代表 浅野 隆彦

- 1) 川上川及び前深瀬川は、・・・河川 A 類型と比較すると、大腸菌群を除いて概ねすべての項目でその基準を満たしている。としているが、ここ数年、COD 数値について 8 ppm という高い状態が続いていると聞いている。もし貯水池となる事を予測しての「水質への影響を検討」するのであれば、COD についての検討が欠かせられないのではないか？ { P. 1}
- 2) 川上ダムに流入する土砂の粒度分布と SS の相関を他ダムと比較した結果、微粒分の割合が少なく、濁水の長期化が発生していないダムに類似した結果であった。としているが、その「比較検討書」を示されたい。
- 3) 同じ中で、土砂の粒度分布だけが濁水の原因とも取れる文面であるが、貯水池に沈む樹木、野草等の植物性物質の関係は「ヘドロ」とも言われ、濁水の一部を占めるのではないかとこれらを検討しないのか？ { P. 5}
- 4) 学識経験者のコメントとして、貯水池の富栄養化については、アオコの発生が長期化するような水質のレベルではないと考えられる。としているが、一般的にダム湖においてアオコの発生は当然のことであり、比奈知ダムよりも流入リン、COD、クロロフィル a は多くなる訳だから、長期化の可能性があると思われるが、そのように考えられるという根拠を聞いているか？ { P. 8}
- 5) 建設省所轄事業に係る環境影響評価実施要綱の対象外であった時点から、約 20 年を経過している。現在は再評価中であり、改めて「国土交通省所轄事業に係る環境影響評価」を実施すべきではないのか？
- 6) オオサンショウウオの移転試験において、湛水予定区域内に生息する成体を多数移転させているが、試験としてはそこまでの数を用いる必要はない。全て試験を名目に追い出そうとしているのか？